

# 平成24年度事業計画書

公益社団法人 日本小児科学会

## [目的]

小児科学に関する研究と小児医療との進歩、発展をはかるとともに会員相互の交流を促進し、小児医療の充実、子どもの健康、人権および福祉の向上、さらにこれらのことの社会への普及啓発に寄与することを目的とする。

## [事業]

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 小児医学・医療の研究および振興を目的とする事業
- (2) 小児科医師の教育および専門性の向上を目的とする事業
- (3) 小児医療に関わる改善を目的とする事業
- (4) 小児医学・医療の社会への普及啓発および還元を目的とする事業
- (5) 国内外の関係団体との協力活動を目的とする事業

## [個別の事業]

### 1. 学術集会等

- (1) 第115回学術集会を平成24年4月20日(金)から22日(日)まで福岡県福岡市(福岡国際会議場ほか)において、久留米大学医学部小児科教授 松石豊次郎会頭主宰により開催する。
- (2) 第2回小児科専門医・専門医取得のためのインテンシブコースを平成24年8月4日(土)、5日(日)に京都府京都市(京都国際会議場)で開催する。

### 2. 機関誌

日本小児科学会雑誌を年12回、Pediatrics Internationalを年6回刊行する。

### 3. 小児科専門医

- (1) 小児科専門医試験(筆記・面接)を平成24年9月1日(土)、2日(日)に東京都で実施する。
- (2) 小児科専門医更新、及び専門医研修施設・同支援施設の申請・更新申請を3月及び9月に受け付け、審査のうえ、認定する。
- (3) 小児科医のための指導医講習会を平成24年7月と平成25年1月に開催する。

### 4. 委員会・ワーキンググループ

本学会が目的とする事業を達成するため、調査研究、学術集会・講習会・フォーラム等の開催、機関誌の発行、専門医制度の運営、関係機関に対する要望・協議、提言、その他について検討する。委員会組織については、平成24年度から次のとおりとする。

学術関連

- ・学術・国際渉外委員会

## 編集関連

- ・和文誌編集委員会
- ・英文誌編集委員会
- ・ホームページ管理・運営委員会

## 倫理委員会関連

- ・倫理委員会[研究・COIを含む]
  - ①小児終末期医療ガイドライン・子どもの脳死臓器移植ワーキンググループ
  - ②遺伝学的検査検討ワーキンググループ

## 小児医療関連

- ・小児医療委員会
- ・予防接種・感染症対策委員会
- ・社会保険委員会
- ・子どもの死亡登録・検証委員会
  - ①総合小児医療検討ワーキンググループ
  - ②移行期の患者についての検討ワーキンググループ

## 専門医関連

- ・中央資格認定委員会
- ・試験運営委員会
- ・生涯教育・専門医育成委員会[思春期医学・医療の教育を含む]
  - ①専門医認定制度のあり方に関するワーキンググループ

## こどもの生活環境改善関連

- ・こどもの生活環境改善委員会[傷害、保育、学校保健、心の問題などを含む]

## 他の学会と密接な関連を有する委員会・ワーキンググループ

- ・新生児委員会
- ・薬事委員会
- ・小児科連絡協議会（三者協）における日本小児科学会担当委員会
  - ①栄養委員会（特殊ミルク安定供給ワーキンググループを含む）
  - ②健康診査委員会（乳幼児健診、生活習慣病検診、心臓検診、腎臓健診）
- ・重症心身障害児ワーキンググループ
- ・こどもの虐待問題ワーキンググループ

## 5. 表 彰

日本小児科学会会長賞、小児保健賞、学術研究賞の表彰を行う。

6. 日本小児科学会地区代議員会、地区小児科学会の活動を支援する。

7. 東日本大震災被災地に対する小児医療支援を行う。

## 8. 総 会

平成 24 年 4 月 19 日（木）に通常総会を福岡国際会議場（福岡市）において開催し、平成 23 年度決算、理事・監事の選任、ほかの議案について審議する。

## 9. 理事会

理事会を年 4 回以上、開催する。

以上